



International  
**Paralympic**  
Committee

水泳のみ参考和訳（基本的には原文をお読みください）

## 東京2020パラリンピック競技大会

出場資格規定

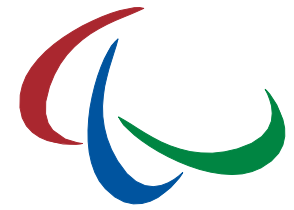
2018年9月

国際パラリンピック委員会

Adenauerallee 212-  
53113 Bonn, Germany

Tel. +49 228 2097-200  
Fax +49 228 2097-209

[www.paralympic.org](http://www.paralympic.org)  
[info@paralympic.org](mailto:info@paralympic.org)



## 目次

1. はじめに
2. 東京2020パラリンピックプログラム概要
3. 出場資格に関するIPC一般規定
4. 空き出場枠の再配分に関するIPC方針
5. ユニバーサリティ・ワイルドカード
6. 主な期日
7. アーチェリー
8. 陸上競技
9. バドミントン
10. ボッチャ
11. カヌー
12. 自転車競技（トラック・ロード）
13. 馬術
14. 5人制サッカー
15. ゴールボール
16. 柔道
17. パワーリフティング
18. ボート
19. 射撃
20. 水泳
21. 卓球
22. テコンドー
23. トライアスロン
24. バレーボール（シットティング）
25. 車いすバスケットボール
26. 車いすフェンシング
27. ウィルチェアーラグビー
28. 車いすテニス
29. 用語集
30. 更新簿



## はじめに

本出場資格規定（以下、本規定）は、東京2020パラリンピック競技大会で実施される東京2020パラリンピック競技大会プログラム（以下、大会プログラム）各22競技において、選手およびチームの出場資格の取得方法に関する詳細をまとめたものである。各国パラリンピック委員会（NPC）、国内競技連盟（NF）、事務スタッフ、コーチ、および選手自身に対し、パラリンピックムーブメントを代表するスポーツイベントに出場するための資格条件を明記している。

本規定が定める内容は以下の通り：

- 大会プログラムの概要
- 出場資格に関するIPC一般規定
- 競技別に特化した出場資格基準（アルファベット順に記載）
- 本規定で使用されている用語の解説

### 競技別出場資格基準の構成

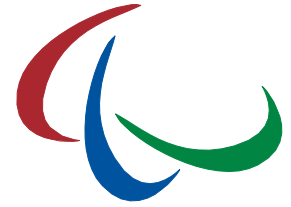
本規定にある競技別セクションは、素早い情報検索と競技間の比較を容易にするために、標準化された形式で定められている。競技別出場資格の基本構成は以下の通り：

- 種目
- 出場選手枠数
- 出場枠の配分
- NPCに配分される最大出場枠数
- 選手の出場資格（競技別）
- NPCの最大エントリー数
- 出場枠決定方式
- スケジュール
- 分配された出場枠の確定
- 未使用出場枠の再配分
- 国際競技連盟（IF）の連絡先

### 出場資格の獲得方法

各国国際競技連盟が定める出場資格の取得方法は、それぞれの競技の特性や慣習にしたがって内容が異なる。競技別資格取得方法（後述）は、いずれも以下の原則に基づくものとする：

- 世界トップクラスの選手に対し、最高レベルのパフォーマンスを発揮する場を提供すること



- あらゆる地域に出場枠獲得のチャンスが与えられ、かつ地域ごとに分配される出場枠は、その地域内における競技の優れたパフォーマンスおよび／または普及度に適切に基づいて行われること

多くの競技では、大会開催国に対しては別に出場枠が設けられている。ただし、開催国の代表選手であっても、東京2020パラリンピック競技大会にエントリーするためには出場資格条件を満たしていなくてはならない。

以下、試合成績に基づく出場枠選考方法の採用が可能。下記1～3番の選考方法は、1つの競技大会での成績結果で出場枠が直接与えられるため、「**ダイレクト出場枠**」と呼ぶ。

1. 世界選手権大会での順位
2. 地域別／ゾーン別選手権大会、または地域での競技大会での順位
3. その他IFが認定する競技大会、または公認パラリンピック予選大会での順位
4. 世界ランキングまたは地域ランキングの順位
5. パラリンピック出場資格用に定められたランキングリストでの順位
6. その後の出場枠配分方式の有無にかかわらず、最低出場資格基準（MQS）を満たす者
7. バイパルタイト委員会招待枠（本項9ページを参照）

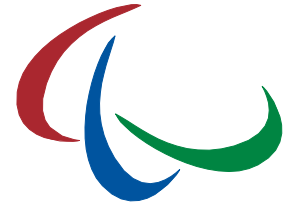
加えて、上記の方法で東京2020パラリンピック競技大会の出場資格を得られなかった選手に対し、IPCの独自の裁量により、少数のユニバーサリティ・ワイルドカードが設けられる（本項9ページを参照）。

国際競技連盟が別に定め、公表している東京2020パラリンピック競技大会への出場資格取得方法と、本規定に後述する各国際連盟の出場資格方法に不一致が見られる場合は、本規定が優先される。

## 質問と最新情報

競技別の出場資格に関する質問は、各競技の国際連盟に問い合わせのこと。一般的な質問は、IPCスポーツ部宛にメールにて受け付ける。（[juergen.padberg@paralympic.org](mailto:juergen.padberg@paralympic.org)）本規定は必要に応じて随時更新されることがある。各更新情報は本規定の文末に記録される。本規定の最新版は（表紙記載の日付を確認）、[www.paralympic.org/Tokyo-2020](http://www.paralympic.org/Tokyo-2020)で入手可能。

いかなる場合も、IPCのwebサイトに掲載されたものが、本規程の唯一の最新版とする。

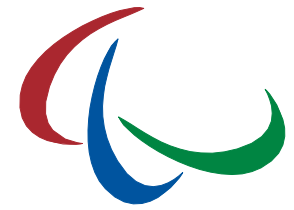


## 公用語

IPCの公用語は英語である。いかなる組織が内部目的で本規定を翻訳した場合、内容に齟齬が生じた際は、本規定の英語版が優先されるものとする。

## 著作権（2018年）

本規定の著作権はIPCに帰属する。本規定の内容に対し、IPCの書面による事前の許可なく、商業目的によるいかなる手段での複製または転載を禁ずる。



## 東京2020パラリンピックプログラム概要

パラリンピック競技大会は、障がいを持つ選手のための国際総合競技大会として位置づけられ、選手たちの卓越した能力や多様性の高い水準を反映した大会である。パラリンピック大会プログラムは、観客を魅了し楽しませるとともに、アスリートが卓越した能力を発揮できるエキサイティングな競技種目の実施を目的としている。東京2020パラリンピック競技大会での目的達成を実現すべく、IPCは既存のパラリンピックのアイデンティティや基本原則に基づいて、4年ごとに行う再評価を実施。大会競技の新規採用や、既存競技、種目メダル対象種目の位置づけの見直しを行った。

### 基本原則

パラリンピック競技プログラムの基本原則は以下の通り（パラリンピック競技大会基本方針）：

#### 卓越性：

パラリンピックは、世界で最も優れた選手たちが出場する世界最高峰の競技大会である。

#### 多様性：

パラリンピックは、障がいの種類も程度もさまざまな選手たちに対し、男女を問わず、かつ特別な支援を必要とする選手の参加も可能とする公明正大な競技プログラムのもとで戦うチャンスを提供するものである。

#### 世界共通性：

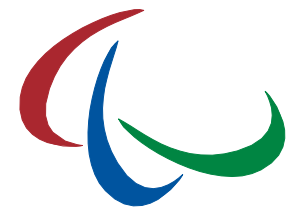
パラリンピックは、世界の全地域から、可能な限り多くのNPCの代表選手を受け入れる。

#### 信頼性：

パラリンピックは、審判および大会運営の面でも最高水準を誇る。

#### 持続可能性：

パラリンピックは、障がい者に向けた長期的なレガシーを発動し、開催国や地域社会に顕著なプラスの影響をもたらす。



## 出場選手枠およびメダル対象種目配分表

IPC理事会により承認された競技別メダル対象種目および出場選手枠は下記の表の通り。

	メダル対象種目				出場選手枠			
	男子	女子	混合	合計	男子	女子	男女オープン	合計
アーチェリー	3	3	3	9	80	60	0	140
陸上競技	93	74	1	168	660	440	0	1100
バドミントン	7	6	1	14	44	46	0	90
ボッチャ	0	0	7	7	0	34	82	116
カヌー	5	4	0	9	50	40	0	90
自転車	29	20	2	51	150	80	0	230
馬術	0	0	11	11	0	0	78	78
5人制サッカー	1	0	0	1	64	0	0	64
ゴールボール	1	1	0	2	60	60	0	120
柔道	7	6	0	13	80	58	0	138
パワーリフティング	10	10	0	20	80	80	20	180
ボート	1	1	2	4	48	48	0	96
射撃	3	3	7	13	100	54	0	154
水泳	76	67	3	146	340	280	0	620
卓球	17	14	0	31	174	106	0	280
テコンドー	3	3	0	6	36	36	0	72
トライアスロン	4	4	0	8	40	40	0	80
シットティングバレー	1	1	0	2	96	96	0	192
車いすバスケ	1	1	0	2	144	120	0	264
車いすフェンシング	8	8	0	16	48	48	0	96
ウィルチェアラグビー	0	0	1	1	0	0	96	96
車いすテニス	2	2	2	6	56	32	16	104
合計	272	228	40	540	2350	1758	292	4400

## 出場資格に関するIPC一般規定

各国際競技連盟が定める選手の出場資格基準に加えて、IPCはパラリンピック競技大会の全出場選手に適用される基本条件基準を定めた。これらの規定は「IPCハンドブック（IPC Handbook）」に基づいており、IPCとその加盟国の基本的な義務と権利を認め、保護するものである。出場資格に関するIPC一般規定は以下の通り：



## IPC加盟国

IPCの正規加盟国であるNPCのみが、正式な出場資格を持つ選手を東京2020パラリンピック競技大会にエントリーすることができる。NPCは、自国の選手がパラリンピック競技大会に出場できるよう、出場選考期間が終了するまでの期間中、国内の競技団体が当該競技の国際連盟に加盟している状態であることを確認すること。

これとは別に、IPCは独自の裁量により、競技者の国籍に関するIPC方針の第3条第1項第3号、およびIPCの絶対的な裁量によって定められた条件にもとづき、難民選手団を東京2020パラリンピック競技大会にエントリーする権利を有する。

## 競技者の国籍に関するIPC方針の遵守

東京2020に出場する選手はいかなるものも、エントリーを行うNPCの国籍／自治領に籍を置き、IPCハンドブックに明記された競技者の国籍に関するIPC方針の各条項を遵守しなければならない。

## 最年少出場条件

IPCは原則として、パラリンピック競技大会の出場選手に対して年齢制限を設けない。しかしながらNPCは、各競技の国際連盟により年齢制限が規定される場合がある点に留意する。パラリンピック競技大会は世界各地の若手選手の参加を歓迎する一方、NPCに対しては、高い競技レベルを十分に備えた選手のみを東京2020競技大会に出場させることが推奨されている。

## 出場条件に対する理解と同意

東京2020パラリンピック競技大会の出場資格を得るためには、どの選手も、IPC 参加条件同意書に署名し、同意書に明記されている規則や規定に同意し、その内容に従うものとする。同意書の締結はNPCによる選手登録手続きの一環として行われる。

## NPC選考基準

IPCは、NPCが東京2020パラリンピック競技大会に出場する選手またはチームの出場資格を決定するにあたり、国内選考基準を定めるNPCの権利を認め、尊重する。かかる選考基準は、IPCが定めた選考基準および、当該競技の国際連盟が定める選考基準に準拠するものであり、オリンピック・パラリンピック大会組織委員会の各種確定日、および申請受付締切期日と符合したものでなくてはならない。すべての選手およびチームが、自国NPCの選考基準の対象として平等に審査される。





## クラス分けルールの遵守

各競技のクラス分けルールを満たして適切なクラス分けステータスを取得し、かつ出場資格を満たす選手のみが、東京2020パラリンピック競技大会にエントリーできる。各NPCは自らの責任のもとに、自国の選手がエントリー前に各競技において適切にクラス分けされ、本規定に明記されている出場必要条件に則した競技クラスステータスを保有していることを確認する。

## バイパルタイト委員会招待枠

これまでのパラリンピック同様、IPCは国際競技連盟と連携して、各競技のトップクラスの選手による東京2020パラリンピック競技大会への出場を実現し、かつパラリンピックの基本原則に則した出場資格方法の策定に努めてきた。卓越性・多様性・世界共通性・信頼性・持続可能性という基本原則は、東京2020パラリンピック競技大会の成功というIPCおよび各国際連盟の目標の基盤をなすものであり、主軸となるものである。

パラリンピック競技大会の基本原則を尊重した基本資格取得方法は、全競技に適応される標準的なものである一方、IPCおよび特定の競技の国際連盟はまた、バイパルタイト委員会の招待枠による出場枠の提供も検討してきた。バイパルタイト委員会の招待枠は、当該種目における出場選手枠の総数に含まれ、各国際競技連盟との協議を経て、IPCの独自の裁量により認定される。招待枠分配では、特に以下の点が考慮される：

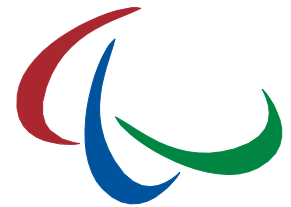
- 特別な事情により、通例の方法で正式な出場資格を得ることができなかったトップクラスの選手の参加を認める場合
- 特殊なサポートを必要とする選手たちの出場を認める場合
- メダル対象種目を成立させるために、十分な選手数を確保する場合
- 出場選手数の性差を大きく激減する場合

バイパルタイト委員会出場枠を設ける競技は以下の通り：

アーチェリー、陸上競技、自転車、柔道、パワーリフティング、ボート、射撃、水泳、卓球、テコンドー、車いすフェンシング、車いすテニス

スケジュールおよび申請手続き：

バイパルタイト委員会招待枠への申し込みに当たり、国際連盟が窓口となる場合は、書類の提出および受理決定に関するスケジュールは、本規定の競技別各章に明記する。IPCがバイパルタイト委員会招待枠の受理決定を行う場合は、IPCの判断が最終決定であり、異議申し立てや上訴は認められない。



## 空き出場枠の再配分

各国際競技連盟はNPCに対し、各国のチームおよび選手が取得できる出場枠を書面にて通知する。NPCはこれを受けて、本規定の競技別・各章で定められた期日までに、分配された出場枠の受け入れを書面で確定しなければならない。NPCが使用しなかった出場枠は、本規定の競技別・各章に定められた方法に基づいて再分配される。期日までに再分配されなかった出場枠、もしくは（最終エントリー期日終了後）該当なしとなった出場枠は、IPCの独自の裁量により、大会プログラムの他の競技や男女オープン部門などに再分配される。IPCによる再分配の決定は、IPCの破断が最終決定であり、異議申し立てや上訴は認められない。

## ユニバーサリティ・ワイルドカード

全てのパラリンピック競技大会において、IPCはパラリンピック基本原則の世界共通という原則を鑑み、可能な限り多くのNPCが自国代表選手を輩出するべく、出場枠配分の特例を認める。この出場枠をユニバーサリティ・ワイルドカード（UWC）といい、IPCの招待によってのみ与えられる。いかなる選手、いかなるNPCも、UWC出場枠を得る権利を持たない。UWC出場枠が適用されるのは、NPCが出場資格を備えた選手を1人も出場させることができない場合、もしくは全22競技を通して1枠しか出場枠を獲得できなかった場合に限られる。UWC出場枠は選手個人に分配されるものであり、NPCに対して分配されるものではない。もし、自国の選手1名がUWC出場枠を与えられ、そのあと通常の出場資格方法によって出場可能な選手が現れた場合、UWC出場枠は撤回され、代わって、通常の出場資格方法によって選出された選手に出場枠が与えられる。

UWC出場枠は、本規定に明記された出場選手枠数には含まれない。東京2020パラリンピック競技大会においては、IPCは以下の対象競技でUWC出場枠の適用を検討する：

- 陸上
- 水泳

UWC出場枠は最大で男子1枠、女子1枠までとし、出場枠を全く獲得できないNPCが出た場合に適用される可能性がある。もし、NPCが（男女の別を問わず）1枠しか出場枠を獲得できなかった場合、最大で女子1枠の出場枠が与えられる可能性がある。



## 適用基準

UWCの適用を検討するためには、選手は以下の条件を満たしていなくてはならない。

- 選手の出場資格に関するIPC一般規定に遵守すること；
- UWC出場枠が適用される時点で、国際連盟が定める選手資格およびクラス分けルールの条件をすべて満たしていること
- 後述の「主な期日」の章に記載されている「選考リスト」に登録済みであること

以上の条件を満たしていない場合は、UWCの適用は認められない。

以上のような条件とは別に、IPC理事会は独自の裁量により、特別な場合にはいかなる競技にもUWC出場枠を付与する権利を有する。

UWCの適用はすべてIPCによって決定される。IPCの判断をもって最終決定とし、異議申し立てや上訴申請は認められない。

## 申請手続き

東京2020パラリンピック競技大会開催の1年前に、IPCよりUWC出場枠の申請手続きが発表される。



## 主な期日

以下のスケジュールおよび期日は、IPCおよび東京2020大会組織委員会によって定められたものであり、大会プログラムで実施される全競技に適用される：

**選考期間の開始：2018年1月1日**

国際競技連盟は、以下に従って、選手およびチームが東京2020への出場枠獲得に必要な試合成績やランキング順位を獲得できる選考期間を独自に設定する：

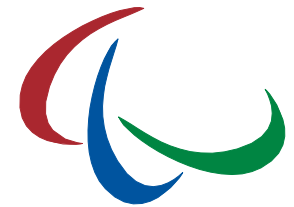
- a) いかなる国際競技連盟も、選手またはチームが東京2020のダイレクト出場枠（本項4ページに規定）を獲得する選考期間を、2018年1月1日より以前に設定してはならない。
- b) 国際競技連盟が、2018年1月1日以前の大会で獲得した試合結果を反映したランキング順位を採用することは認められる。ただし、以下のc)項の定めにより、いかなる国際競技連盟も、リオ2016以前または会期中の成績を反映することは認められない。
- c) 東京2020よりパラリンピック競技に初参加する国際競技連盟に関しては、2016年1月1日以前の試合結果を、選手の東京2020への出場枠を決定するランキングに反映することはできない。
- d) 選考期間中の大会への出場に関しては、各競技が設定した選考期間の開始日以前に獲得した試合結果をもとに出場可否を判断することができる。

**アクレディテーションリスト期日：2020年5月8日**

各NPCは、東京2020パラリンピック競技大会への出場を検討している代表メンバー1人1人の完全な情報を、東京2020大会組織委員会に提出しなくてはならない。この「アクレディテーションリスト」には、選手（正式に出場資格を得た者、次点選手、補欠選手、バイパルタイト委員会出場枠の候補者、およびUWC出場枠候補者を含むが、これに限定されるものではない）、競技ガイド（ランナー、タンデムパイロット、ゴールキーパー、ボッチャのアシスタント）、コーチ、チームドクター、事務スタッフ、物理療法士、介護スタッフ、広報担当者、パラリンピック担当者、統括責任者、NPC会長、NPC事務総長、その他帯同ゲストなどが含まれる。2020年5月8日までにアクレディテーションリストに登録された選手のみが、各競技のエントリー期日までに（後述）東京2020パラリンピック競技大会へエントリー申請をすることができる。

**各競技のエントリー期日：2020年8月3日**

各競技のエントリーは、出場資格を満たした選考選手が、実際にパラリンピック競技大会に出場するための正式な登録手続きである。NPCがエントリーを認めた選手はいかなる者も、エントリーを申請する時点で全ての出場資格をクリアし、かつ選考リスト（前述）に登録済みでなくてはならない。出場資格を得る最後のチャンスは2020年8月3日となる。各競技のエントリーは、2020年8月3日、日本時間の23時59分に締め切られる。



International  
Paralympic  
Committee

## 水泳

### メダル対象種目

男子	女子	混合	合計
76	67	3	146

メダル対象種目の詳細およびMQS/METリストは本章の末尾に記載

### 選手出場枠

男子	女子	合計
340	280	620

### 出場枠の配分

出場枠は各NPCに分配されるものであり、選手個人に分配されるものではない。バイパルタイト委員会招待枠が分配される場合は、NPCに対してではなく、選手個人に分配される。

プログラムの全メダル対象種目が東京2020パラリンピック競技大会で実施されるようにするために、世界パラ水泳連盟（WPS）は特定の競技クラス、とりわけ特別な支援を必要とする競技者に特化したクラスを例外的に設け、出場枠を分配する権限を有する。出場枠は分配された通りに使用するものとし、使用しない場合、NPCはWPSに返還しなくてはならない。

### NPCの最大出場選手枠

出場枠数は各NPCに対し、男子は34枠まで、女子は28枠まで、合計で最大62枠の出場枠が分配される。例外として、バイパルタイト委員会招待枠分配方法が適用される場合もある。

### 選手の出場資格

各NPCによる出場選考資格を得るためには、選手は以下の要件を満たしていなくてはならない：

- 2020年シーズンに有効なWPSアスリートライセンスを保持していること。
- 2018年10月1日から2020年8月2日の間に、対象の種目において、WPS規定の50m競技大会（WPS公式競技大会、WPS公認競技大会、WPS承認競技大会）で出場資格最小スコア（MQS）をひとつクリアしていること；
- 2018-2020シーズン中に有効なアスリート・ライセンス・プログラムポリシーに従って、出場資格最小スコア（MQS）をひとつクリアしていること；



- 国際的なクラス分けを受けており、競技クラスステータスがConfirmedまたはReviewであること。Reviewの場合は再評価の日付が2020年12月31日以降であること。
  - 2020年6月1日以前に国際的なクラス分けを受けていること。
  - 2018年10月1日から2020年のWPSヨーロッパオープン選手権大会（日程は後日発表）終了時までの間に、以下の大会のうち少なくとも1大会に出場していること：
    - WPSワールドシリーズ、
    - 2019年WPS 世界選手権大会、
    - WPS 地域選手権大会またはリージョナルオープン選手権大会、
    - 2019年パラパンアメリカンゲームス
- 例外として、バイパルタイト委員会招待枠分配方法が適用される場合もある。

### NPCの最大エントリー数

NPCは、メダル対象種目1種目につき、出場資格をもつ選手を最大3名までエントリーすることができる。

NPCは、少なくともMQSをひとつクリアしている選手をメダル対象種目の数に制限なくエントリーさせることができる。ただし、選手はこれら追加種目に定められた最低エントリー記録（MET）を満たしていることが条件となる。

NPCは、各リレー種目に最大1チームまでエントリーすることができる。ただし、リレー種目必要なMQSをクリアしていることが条件となる。リレーチームの選手に選出されるためには、いずれの選手も少なくとも1種目、個人種目の出場資格を満たしていなくてはならない。

### 出場枠の決定方式

出場選手枠は以下のように分配される：

選考方式	選考基準	合計出場枠
2019世界選手権 出場枠	<p>2019年WPS世界選手権大会において、東京2020パラリンピック競技大会で実施されるメダル対象個人種目の各種目上位2名の選手にそれぞれ自国NPCの出場枠が与えられる。1名の選手が1種目以上で1位または2位に着順した場合、当該選手に与えられる自国NPCの出場枠は1枠のみとする。</p> <p>この方法で分配される出場枠が規定の出場枠数に満たない場合、WPSは残った出場枠をMQS出場枠分配方法で分配する。</p>	<p>男子148 枠</p> <p>女子130 枠</p>



<p><b>MQS出場枠分配Slot</b></p>	<p>2018年10月1日から2020年1月31日までの間に、WPS規定の競技大会でMQSをクリアしているものの、2019年世界選手権大会で自国NPCのダイレクト出場枠を獲得できなかった選手は、NPCのMQS出場資格分配枠の対象となる。</p> <p>選手が複数種目でMQSを達成している場合でも、NPCには選手1名につき出場枠は1枠までしか分配されない。</p> <p>この方法に基づき、MQSをクリアした選手の数、本来割り当てられた出場枠の合計数を上回った場合、出場枠は以下の方法で分配される。2020年1月31日終了時点でのWPS世界ランキングリストで、各メダル対象個人種目のランキングが最も高い選手が、各NPCに割り当てられる最終出場枠の選考対象となる（加点式）。</p> <p>ランキング1位から8位＝1          ランキング9位から12位＝0.8          ランキング13位から16位＝0.6          ランキング16位より下＝0.5</p> <p><b>男子：</b></p> $A \times (B \div C) = \text{NPC分配数}$ <p><b>A:</b> 各NPCでの、MQS（ランキングの加点ポイントを元に計算）を獲得しているが、世界選手権で出場枠を獲得していない男子選手の人数</p> <p><b>B:</b> 各NPCに本来割り当てられた男子出場枠の数</p> <p><b>C:</b> MQS（ランキングの加店ポイントを元に計算）を獲得しているが、世界選手権で出場枠を獲得していない男子選手の総数</p>	<p>男子187 枠</p> <p>女子145 枠</p>
----------------------------	---	-------------------------------



	<p><b>女子：</b>  <math>D \times (E \div F) = \text{NPC分配数}</math></p> <p>D: 各NPCでの、MQS（ランキングの加点ポイントを元に計算）を獲得しているが、世界選手権で出場枠を獲得していない女子選手の数  E: 各NPCに本来割り当てられた女子出場枠の数  F: MQS（ランキングの加店ポイントを元に計算）を獲得しているが、世界選手権で出場枠を獲得していない女子選手の総数</p> <p>WPSは、男女それぞれの出場枠の必要分配数を達成するために、切り上げまたは切り捨てする権利を有する。</p> <p>この方法に基づき分配されなかった出場枠は、バイパルタイト委員会招待枠の分配方法で分配される。</p>	
<p><b>バイパルタイト委員会招待枠</b></p>	<p>出場資格を持つ男子5名、女子5名の選手が、IPCおよびWPSにより、バイパルタイト委員会招待枠の対象となる</p> <p>委員会招待枠の対象となるには、NPCは2020年4月10日までに、世界パラ水泳連盟宛に書面で、所定の申請書を提出しなければならない。</p>	<p>男子5枠  女子5枠</p>
<p><b>合計</b></p>		<p>男子340 枠  女子280枠</p>





## スケジュール

2018年10月1日	選手のMQS獲得期間の開始
2018年11月1日	WPSより、東京2020メダル対象種目プログラムのMQSおよびMETレベルの発表
2019年7月29日－8月4日	2019年WPS世界選手権大会（マレーシア・クチン）
2019年9月6日	WPSより各NPCに対し、2019年世界選手権大会で獲得したダイレクト出場枠の配分を書面にて確定通知
2019年9月20日	各NPCよりWPSに、分配されたダイレクト出場枠の使用を書面にて確定通知
2020年1月31日	MQS出場枠配分方法により出場枠配分を計算するにあたり、WPSの検討対象となるMQSの獲得期間の終了
2020年2月15日	バイパルタイト委員会の招待枠の選考開始
2020年2月15日	WPSより各NPCに対し、MQS配分方法による出場枠配分を書面にて通知
2020年3月1日	各NPCよりWPSに対し、分配された出場枠使用の確定を書面にて通知
2020年4月10日	各NPCより、バイパルタイト委員会招待枠への申請書提出
2020年4月23日	WPSより、バイパルタイト委員会招待枠賦与を書面にて確定通知
2020年4月23日	WPSより、未使用の出場枠の再配分を書面にて通知
2020年5月8日	各NPCより東京2020大会組織委員会へ、アクレディテーション申請書の提出・受理期日（アクレディテーションリスト）
2020年8月2日	各NPCが代表選手を選考する際の出場要件となるMQSの獲得期間終了
2020年8月3日	各NPCより東京2020大会組織委員会へ、競技エントリー申請書の提出受理期日



## 分配された出場枠の確定

2019年世界選手権大会およびMQS出場枠分配方法で分配された出場枠の使用を希望する場合、出場枠を獲得した各国NPCは本書に定められた期日までに、WPS宛に書面で（Faxおよびeメールでも可）確定しなければならない。NPCがこの期日までにWPSに通知しない場合、NPCは出場枠を失い、WPSはこの分の出場枠を再分配する。

WPSは2020年4月23日までに、未使用出場枠の再配分が確定したことを書面で通知する。

2020年4月23日までに、NPCは分配された東京2020パラリンピック競技大会出場枠の使用を正式に公表。NPCが与えられた出場枠を使用しない場合、WPSおよびIPCの制裁対象となる場合もある。

## 未使用出場枠の再配分

各国NPCに分配されたものの使用されなかった出場枠は、バイパルタイト委員会の招待枠分配方法にしたがって、再分配される。

## 国際競技連盟窓口

世界パラ水泳連盟

Adenauerallee 212-

214

53113 Bonn

Germany

Fax: (+49) 228-2097-209

メール: [worldparaswimming@paralympic.org](mailto:worldparaswimming@paralympic.org)

## 水泳

男子種目 (76)	女子種目 (67)	混合種目 (3)
50m 自由形 S3	50m 自由形 S4	4x50m 自由形 20 points
50m 自由形 S4	50m 自由形 S6	4x100m 自由形 S14**
50m 自由形 S5	50m 自由形 S8	4x100m 自由形 VI**
50m 自由形 S7	50m 自由形 S10	
50m 自由形 S9	50m 自由形 S11	
50m 自由形 S10	50m 自由形 S13	
50m 自由形 S11	100m 自由形 S3	
50m 自由形 S13	100m 自由形 S5	
100m 自由形 S4	100m 自由形 S7	
100m 自由形 S5	100m 自由形 S9	
100m 自由形 S6	100m 自由形 S10	
100m 自由形 S8	100m 自由形 S11	
100m 自由形 S10	100m 自由形 S12	
100m 自由形 S12	200m 自由形 S5	
200m 自由形 S2	200m 自由形 S14	
200m 自由形 S3	400m 自由形 S6	
200m 自由形 S4	400m 自由形 S7	
200m 自由形 S5	400m 自由形 S8	
200m 自由形 S14	400m 自由形 S9	
400m 自由形 S6	400m 自由形 S10	
400m 自由形 S7	400m 自由形 S11	
400m 自由形 S8	400m 自由形 S13	
400m 自由形 S9	50m 背泳ぎ S2	
400m 自由形 S10	50m 背泳ぎ S3	
400m 自由形 S11	50m 背泳ぎ S4	
400m 自由形 S13	50m 背泳ぎ S5	
50m 背泳ぎ S1	100m 背泳ぎ S2	
50m 背泳ぎ S2	100m 背泳ぎ S6	
50m 背泳ぎ S3	100m 背泳ぎ S7	
50m 背泳ぎ S4	100m 背泳ぎ S8	
50m 背泳ぎ S5	100m 背泳ぎ S9	
100m 背泳ぎ S1	100m 背泳ぎ S10	
100m 背泳ぎ S2	100m 背泳ぎ S11	
100m 背泳ぎ S6	100m 背泳ぎ S12	
100m 背泳ぎ S7	100m 背泳ぎ S13	
100m 背泳ぎ S8	100m 背泳ぎ S14	
100m 背泳ぎ S9	50m 平泳ぎ SB3	
100m 背泳ぎ S10	100m 平泳ぎ SB4	

100m 背泳ぎ S11 100m 背泳ぎ S12 100m 背泳ぎ S13 100m 背泳ぎ S14 50m 平泳ぎ SB2 50m 平泳ぎ SB3 100m 平泳ぎ SB4 100m 平泳ぎ SB5 100m 平泳ぎ SB6 100m 平泳ぎ SB7 100m 平泳ぎ SB8 100m 平泳ぎ SB9 100m 平泳ぎ SB11 100m 平泳ぎ SB12 100m 平泳ぎ SB13 100m 平泳ぎ SB14 50m バタフライ S5 50m バタフライ S6 50m バタフライ S7 100m バタフライ S8 100m バタフライ S9 100m バタフライ S10 100m バタフライ S11 100m バタフライ S12 100m バタフライ S13 100m バタフライ S14 150m 個人メドレー SM3 150m 個人メドレー SM4 200m 個人メドレー SM6 200m 個人メドレー SM7 200m 個人メドレー SM8 200m 個人メドレー SM9 200m 個人メドレー SM10 200m 個人メドレー SM11 200m 個人メドレー SM13 200m 個人メドレー SM14 4x100m 自由形 34 Points 4x100m Medley 34 Points	100m 平泳ぎ SB4 100m 平泳ぎ SB5 100m 平泳ぎ SB6 100m 平泳ぎ SB7 100m 平泳ぎ SB8 100m 平泳ぎ SB9 100m 平泳ぎ SB12 100m 平泳ぎ SB13 100m 平泳ぎ SB14 50m バタフライ S5 50m バタフライ S6 50m バタフライ S7 100m バタフライ S8 100m バタフライ S9 100m バタフライ S10 100m バタフライ S13 100m バタフライ S14 150m 個人メドレー SM4 200m 個人メドレー SM5 200m 個人メドレー SM6 200m 個人メドレー SM7 200m 個人メドレー SM8 200m 個人メドレー SM9 200m 個人メドレー SM10 200m 個人メドレー SM11 200m 個人メドレー SM13 200m 個人メドレー SM14 4x100m 自由形 34 Points 4x100m Medley 34 Points	
**暫定。2019年世界選手権大会でのリレー種目の実施要件は、東京2020での実施状況に応じて決定する。		